

子どもたちの未来を応援



令和2年1月1日
中学生までの
医療費無料化スタート

保存してください。いつかまた お役に立ちます

主な内容

- 子ども医療費無料化スタート 5面
- 「子育てにやさしいまち松山」特集
..... 6・7面
- 台北市友好交流協定締結5周年
..... 4面
- 特集 市政この1年 8・9面
- 年末年始のイベント・
主な施設のご案内..... 10面
- 市民ガイド..... 11~15面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション
推進課
毎月1日・15日発刊
☎948-6705 ☎934-2578
🌐https://www.city.matsuyama.ehime.jp/

のご協力で、来月から3期目公約に掲げた中学3年生までの通院費の助成を拡大します。子育て家庭の経済的負担を減らすほか、病気の早期発見や治療を支援していきます。これまで、さまざまな子育て支援を充実してきました。「地域子育て支援拠点」は、中核市でトップクラスの多さで、子育て中の親子が気軽に参加し、他の親子と交流や、職員に相談できる場を提

供しています。去年8月には、子育て期の妊婦さんや、お子さん、ご家族を切れ目なく支えるため、「すくすくサポート」を市内5カ所に開設しました。専任の保健師が常駐し、相談に応じるほか、栄養士に栄養相談や身体計測もでき、お一人お一人の状況に応じた情報を提供しています。また、タウンミーティングの意見をもとに、子どもたちの教育環境を改善し、災害時にも備え、市立幼稚園や市内全ての市立小学校・中学校にエアコンを整備しました。子どもたちは、松山の宝です。子どもたちの未来を応援するため、また子育て世代の方が、幸せを実感しながら子育てができる環境をこれからも充実させていきます。

松山市長 野志克仁

子育て世代を応援します

1月1日から、中学生までの医療費を無料化します。就任してから、6歳就学前までだった入院費助成を、平成23年9月には小学3年生までに、平成27年4月からは、中学3年生までに対象年齢を引き上げ、多額の費用が必要な入院費を助成し、万一の事態に安心して受診できる環境を整えてきました。県の補助を増やしていただき、関係機関

また、タウンミーティ

かつびトーク

